

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 24-012

PDCA	事務事業名	(仮称)大高公園整備事業	部課等名	建設部 都市計画課 公園 緑地担当	担当	澤山		
					内線等	448		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち						
		節： 第3節 うるおい空間の形成						
		基本施策： 1. 公園・緑化・親水空間						
		単位施策： (1) 公園・緑地の整備						
		個別施策： ①公園の整備						
	根拠法令等	都市公園法						
	対象・目的	市営上池東住宅跡地と隣接する上池の水辺空間を利用して、潤いある公園を整備する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	平成30年度：測量調査設計業務委託 令和元年度：公園整備工事						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位	
		①測量・調査・設計		-	-	1	式	
		②整備工事		-	-	-	式	
		③						
		事業費		-	-	7,560	千円	
		人件費		-	-	1,874	千円	
		総事業費		-	-	9,434	千円	
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位	
		①測量・調査・設計		-	-	7,560	千円	
	②整備工事		-	-	-	千円		
	③							
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位	
		①公園整備事業の進捗率	実績値			11.7	%	
			目標値			11.7		
			実績値					
目標値								
実績値								
目標値								
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B						
		地元住民と協議するなか、地域が望む公園の設計を完了することができた。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持					
			地元要望に応えることのできるように設計の細部にわたり協議し、令和2年4月の供用開始を目指す。					
		令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位
			①公園整備事業の進捗率				100	%